

暮らしのたより

9月 - 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15

9月の健康だより

☎ 保健婦人センター 64-8992

☆乳児相談

該当児 平成元年11月と2年5月生まれ

☆離乳食講習会

該当者 生後2~5カ月の赤ちゃんを持つ母親や祖母

☆1歳6ヵ月児健康診査

該当児 平成元年2月生まれ

☆むし歯予防教室

該当児 2歳~3歳の幼児

☆3歳児健康診査

該当児 昭和62年8月生まれ

★日時、会場は健康カレンダーをごらんください。

成人病予防のための運動推進講座

☎ 保健婦人センター 64-8992

市は、成人病予防と健康増進のための「運動講座」を行います。

とき 9月13日~11月29日 毎週木曜日 10:00~11:30 計11回

ところ 保健婦人センター 健康増進ホール

対象 市内在住、40歳以上の男女

内容 運動による健康効果を学びながら、「歩く」ことや軽体操など、日常実践できる運動を身につける。

定員 50人

保険料 360円

申し込み 9月3日~10日までに申し込んでください。

犬、猫の引き取り日

☎ 環境衛生課 内線 2432

飼えなくなった犬、猫の引き取りは各会場15分です。当日は愛犬手帳をお持ちください。なお、飼えなくなって出した犬、猫はお返しできませんので御注意ください。また、野良猫の捕獲、引き取りはいたしません。

◇9月7日(金)、21日(金)

田子浦公民館9:00 富士公民館9:30

◇9月14日(金)、28日(金)

吉永公民館9:00、市役所西口9:30、
広見公民館10:00、大淵公民館10:30、
鷹岡公民館12:00

婦人国内交流集会の参加者を募集

☎ 保健婦人センター 64-8995

とき 11月7日~9日

ところ 国立婦人教育会館(埼玉県)

対象 市内の婦人団体・グループの指導者で59歳未満の婦人

研修内容 全国の婦人との交流、情報交換、講演会など

定員 8人

参加費 1万5,000円以内

申し込み 9月14日までに申し込んでください。

夏は節電の季節

- 冷房温度を高めましょう
- 窓際の照明は消しましょう
- エレベーター、エスカレーターなどの運転を調整しましょう

9月の歩く会

☎ 文化体育課 内線 2723

とき 9月16日 雨天は23日

ところ 三保の松原

集合 富士駅改札口前 8:30

コース 富士駅⇄清水駅~三保の松原
片道行程約8㎞

持ち物 弁当、水筒、雨具など

問い合わせ

事務局(桑原方) ☎52-2764

9月の献血

☎ 社会課 内線 2312

日	場所	時間
20日(木)	富士市庁舎西口	9:30~15:30
22日(土)	鶴無ヶ淵公会堂	9:30~11:30
23日(日)	保健婦人センター	9:30~15:00
29日(土)	J R 富士駅前	10:00~16:00
30日(日)	富士見台ハロー広場	10:00~15:30

救急医療週間 9/8~14

9/9 救急の日

= 22万市民の救急車です
正しく利用しましょう =

・昨年中、市民57人に1人が救急車を利用しました。



健康コーナー

てんかん



てんかんという病気については、遺伝性の高い精神病であるとか、一生治らないとか、知能障害を起こす等の誤解や偏見があるようです。かつては、てんかん発作を悪魔つきの状態とみなしていた時代もあったそうです。

しかしながら古来、歴史上において大いに活躍した人びとの中にも、てんかんという病気を持病にしていた人たちが、多くみられます。

それではどうして、そのような偏見

が生まれてきたのでしょうか。それというのも、てんかん発作は、突然のけいれん発作の印象が強いからです。

しかし実際のてんかんは、そのような大発作ばかりではないのです。

現代では、てんかんとは、反復して発作が起こることを特徴とする慢性脳障害の総称とされています。まだ特定の病変が見つからないものもありますが、脳波検査やCT検査で脳の病変の部位や種類がわかります。

一般人口のうち約100人に1人の頻度で起こり、中には遺伝因子が関わるものもあります。

治療としては、抗てんかん剤と呼ばれる薬があり、診断がつきしだい、早

い時期に服薬を開始することで、ほとんどの発作はコントロールすることができ、社会生活を支障なく送れるようになっています。

(富士市医師会)

レジャー通信

夏休みで子どもたちにとって楽しいのは、プール遊びです。しかし注意しなければならないのがプール熱。プールから出たあと、手や目をよく洗ってうがいをすることが大切です。